

議員提出議案第7号

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

上記の議案を提出する。

2018年3月26日

提出者 豊島区議会議員

森 とおる 儀 武 さとる
垣 内 信 行 小 林 ひろみ
渡 辺 くみ子 清 水 みちこ

豊島区議会議長 木 下 広 様

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が昨年7月7日、国連会議で加盟国の3分の2（122カ国）の賛成で採択された。

この条約は、加盟国に核兵器の開発、保有、実験、使用だけでなく、核兵器による威嚇行為も禁じている画期的なもので、核保有国が条約に参加する道もつくられている。豊島区在住の被爆者をはじめ日本と世界の被爆者や市民が、非人道的な兵器である核兵器をなくそうと働きかけてきたことが国際政治を動かしたのである。

広島・長崎への原爆投下、ビキニ環礁での核実験と3度にわたり核兵器の惨禍を体験した日本は、核兵器廃絶に向け先頭に立つことが強く求められている。しかし、日本政府は核保有国と歩調を合わせ、条約の署名・批准をしない、と表明している。

豊島区議会は1982年に23区で初めての非核都市宣言を全会一致で可決した。同宣言は、「豊島区及び豊島区民は、さらに他の自治体とも協力し、核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化に向けて努力する」と述べている。

よって豊島区議会は、国会及び政府に対し核兵器禁止条約に調印し、批准するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

豊島区議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣

あて